

家庭数

保護者様

令和4年11月14日

京都市立宇多野小学校
校長 川合 まどか

令和4年度 前期学校評価アンケート結果のご報告

前期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回もアンケート実施と同時に、児童と教職員にもアンケートを実施しました。それらの結果を報告させていただきます。

Microsoft Forms を使いご回答いただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。
後期のアンケートもぜひご協力ください。

今後も学校教育へのご協力をよろしくお願ひいたします。

1. 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

重点目標 学ぼうとする意欲や学びを友だちと共有する力を身につけさせ、学力向上につなげる。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 授業は分かりやすいですか。児童97.2% 保護者89.3% 教職員91.3%
- ② 授業中、進んで発表していますか。児童75.7% 保護者65.2% 教職員86.9%
- ③ 学習ノートを見やすく書いていますか。児童88.0% 保護者75.1% 教職員86.9%
- ④ 学習ノートに、「めあて」に沿った「振り返り」を書いていますか。

児童90.6% 保護者71.7% 教職員86.9%

- ⑤ 自分から進んで家庭学習をしていますか。児童79.2% 保護者60.5% 教職員47.8%
- ⑥ 読書の習慣が身についていますか。児童84.4% 保護者54.9% 教職員56.5%

分析（成果と課題）

児童の指数が、前回と比べて①が4%、②が6%上りました。いずれも授業に関する項目です。児童が意欲的に学習に取り組んでいることがうかがえます。⑤については、児童と教職員のポイントが31.4%の差があります。教職員は「自分から進んで」学ぶ力をさらに伸ばしていくと感じています。また、家庭学習では、宿題だけではなく自分で考えた学習課題に主体的に取り組んでほしいと願っています。今後も自主学習の取り組み方を指導し、内容を充実させていきたいと思います。⑥については児童と保護者の間に27.9%の差があります。児童は学校では読書をしていますが、おうちではあまり読書する姿が見られないのではないかと考えられます。

分析を踏まえた取組の改善

自分から進んで家庭学習をすることを促すために、自主学習の取り組み方を指導したり、よい事例を紹介したりすることで、自分で計画を立てやすくしていきます。また、タブレット端末を使用した新しい学習の取組も進めていくことで、従来の「ノートを書く力」だけではなく、「情報を集めたり、自分の考えを発信したりする力」も育てていきたいと考えています。主体的に関心があることを調べたり、苦手な学習に取り組んだりする力を育てていきます。

家庭での読書を促すためには、図書館により家庭での読書の意義を伝えたり、学校独自のおすすめ本を紹介したりしていきます。いつでも開いている学校図書館の活用を今後も進めていきたいと考えています。家庭でも読書を興味づけしていただくなどご協力をお願いします。

（裏面もあります）

2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 自分からあいさつができますか。児童95.0% 保護者70.4% 教職員69.6%
- ② 相手を思いやり、親切にすることができますか。児童96.7% 保護者93.6% 教職員95.6%
- ③ 周りの人から大切にされていますか。児童96.0% 保護者98.2% 教職員100.0%
- ④ ものを大切にしていますか。児童96.9% 保護者70.8% 教職員65.2%
- ⑤ 学校のきまりや社会のルールを守っていますか。児童97.8% 保護者97.0% 教職員95.6%

分析（成果と課題）

「自分からあいさつとものを大切にする」ことについて、児童の指数に比べ、保護者は20%ほど低く、教職員においては30%ほど低いです。あいさつをすることについては、自分ではあいさつしているつもりでも、相手に伝わっていないのではないかと考えられます。あいさつは相手の顔を見て、はっきりとした声ですると気持ちがよいものだという相手意識を育てていきたいです。

ものを大切にすることについては、落とし物が多く、誰のものか呼びかけても所有者が見つからないことがしばしばあります。引き続き、持ち物には必ず名前を書き、大切にすることを呼び掛けていきます。

分析を踏まえた取組の改善

「自ら進んであいさつのできる児童」を育てていくには、引き続き学校・家庭・地域が一体となって進めいくことが大切です。現在、児童会活動で朝のあいさつ運動を行っています。この活動を通して、あいさつは、相手を見て聞こえる声で言うことで気持ちが伝わることを実感させていきたいです。「ものを大切にする」については、学校や家庭で使う大切な物だという意識を持たせるために、記名を呼びかけたり、整理整頓ができる環境を整えたりしていきます。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動やスポーツの実践と体力の向上、健康的な生活を送る子を育成する。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ① 睡眠時間は8時間以上とれていますか。児童92.9% 保護者93.1% 教職員78.3%
- ② 毎日朝ごはんを食べていますか。児童97.1% 保護者99.1% 教職員91.3%
- ③ 外遊びやスポーツなどで、体を動かしていますか。児童90.1% 保護者79.0% 教職員95.6%
- ④ テレビを観たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。
児童82.1% 保護者63.1% 教職員65.2%
- ⑤ 安全に登校できますか。児童98.4% 保護者96.5% 教職員91.3%
- ⑥ 安全に下校できますか。児童96.2% 保護者94.0% 教職員82.6%

分析（成果と課題）

④については、児童も保護者も前回よりも5%強上がっています。しかし、児童と保護者の指数に20%程の開きがあるため、家庭で話し合ってルールの共有化を進めていただきたいと思います。⑤⑥については、三者ともに指数が前回よりも上がっていますが、下校時の様子については、道に広がりながら歩くなど安全面で気にかかるところがあります。

分析を踏まえた取組の改善

④については、スマイルデーやG I G A端末の持ち帰りに際して、情報モラルの学習を行ってきました。ゲーム依存について触れ、体や心の健康のために時間を決める大切さを教えました。⑤⑥については、これからも、安全に気を付けて気持ちを落ち着けて下校できるように、安全の日の教職員の登校指導を下校時に行うなど工夫していきます。家庭でも交通ルールを守ることをお子さんにお声かけください。

